

本県における手話関連施策の状況（R7）

関係条例	事業	内容
手話関連施策の策定、推進 （第7条）	○ 「第5次富山県障害者計画」（R6～R11）への手話関連施策の明記 ○ 「富山県第7期障害福祉計画（第3期障害児福祉計画）」（R6～R8）への手話関連施策の明記 ○ 富山県手話施策推進協議会の開催	意思疎通支援の充実として、手話の普及等の推進を明記 専門性の高い意思疎通支援を行う者の派遣や手話通訳者・ボランティア等の養成研修を行うとともに、指導者の確保に努めること等を明記 手話関連施策について、情報共有や意見交換等を行う
相談及び意思疎通の支援体制の整備 （第8条）	○ 県聴覚障害者センターによる相談支援（県から運営費を補助） ○ 県専任の手話通訳者（2名）の設置 ○ 遠隔手話通訳サービスの提供 ○ 市町村の手話通訳者設置への支援 ○ 手話通訳者の派遣 ○ 県職員等向け手話講座の実施 ○ 聴覚障害者向け生活訓練の実施	聴覚障害児・者に関わる相談支援を実施 （参考）R6実績：計66件（内訳）労働8件、手続9件、生活一般44件、その他5件 障害福祉課と県聴覚障害者センターに県専任の手話通訳者を配置し、県主催行事や聴覚障害者の来庁時等において手話通訳を行う （参考）R6実績：通訳・相談活動等117件、登録手話通訳者派遣のコーディネート業務293件 聴覚障害者が医療機関へ受診する際などにスマートフォンやタブレット端末を通じて遠隔手話通訳サービスを提供する。※利用件数が少なく、周知が必要 県内の市町村へ手話通訳者等を派遣 （参考）R6実績：手話通訳者派遣依頼正味件数583件（派遣のべ635人） 県職員等に向けた手話講座を実施 県内在住の社会生活を営んでいる聴覚障害者を対象として、コミュニケーション・情報機器研修、文化研修、社会・家庭生活研修の場を設け、聴覚障害教育、社会、福祉などの専門的な知識の豊富な講師に依頼して実施 （参考）R6実績：36講座、のべ1,246名参加 ①コミュニケーション・情報研修事業10回のべ223名参加 ②文化・情報研修事業4回のべ633名参加 ③社会・家庭生活研修事業22回のべ390名参加
手話による情報発信等 （第9条）	○ 緊急記者会見への手話通訳士（者）の配置 ○ 知事定例記者会見の動画への手話通訳の挿入	各種緊急記者会見に手話通訳士（者）を配置 県ホームページに掲載する知事定例記者会見の動画に、手話通訳を挿入する
手話通訳者の確保、養成等 （第11条）	○ 手話通訳者の養成研修 ○ 手話通訳試験等の受験料への助成	一般、実践、現任の各研修の実施や講師養成講習会への派遣を行う 手話通訳士試験や手話通訳者全国統一試験の受験者に対して、受験料の半額を助成 （参考）R6実績：富山県からの受験者（申請者）2名
手話を学ぶ機会の確保等 （第13条）	○ 県聴覚障害者センターによる普及活動（県から運営費を補助） ○ 字幕入り映像ライブラリー作品の制作、貸出し ○ 手話普及活動への補助 ○ 「みんなで手話を知ろう、学ぼう」キャンペーンの推進	広報誌の発行、ホームページの運用、テキスト等の販売、センター研修室や情報機器の貸出しを行う 聴力障害者情報文化センターが制作した字幕入りDVD等を県聴覚障害者センターで貸出す （参考）R6実績：利用者個人のべ7名、1団体 貸し出し本数のべ25本 県内の手話サークル等が民間団体や企業等に対して手話の普及活動を行う際に、その費用の一部を補助する （参考）R6実績：9団体、全18回、受講者延べ324人 県聴覚障害者協会等とともに、広く県民に対して様々な機会を捉えて手話等について知る、学んでもらう取組を展開する （参考）R6実績：①民間イベント等への手話コーラスの派遣 3回 ②手話言語の国際デーに合わせたライトアップ（1日） 県内8か所
学校における手話の普及 （第14条）	○ 特別支援学校・小中学校教職員向け手話研修の実施 ○ 幼児児童生徒等への手話の学習機会の提供 ○ 一般の学校における手話の理解と普及の推進	ろう者等による手話研修会やミニ手話学習会を開催 幼児児童生徒、保護者に対して、ろう者等による手話学習会を実施 総合的な学習の時間等を活用した手話体験などについて、優れた取り組みを紹介するとともに、手話の理解を深める小学生向け学習資料を配付し、手話に関する学習を推進 （参考）R6実績：県内小中高等学校へ講師派遣 8校